



学園通信

練馬区立大泉学園中学校

平成 30 年 12 月 21 日発行 校長 晴佐久和彦

困難を乗り越えていく姿勢

年末を控え、慌ただしい時期となってまいりました。同時に、本校の 2 学期も来週火曜日の 1 日を残すのみとなっています。当日は学年集会そして終業式を通して今学期の総括をしてまいります。

ところで、年の瀬に毎年日本漢字能力検定協会が募集する「今年の漢字」ですが、先日発表され、第 1 位は「災」に決定したとのことです。地震、洪水等自然災害が続いた年でしたので致し方ない面もあると考えますが、同時に「防災意識」を高める機会として捉えていくことも大切かと思えます。ちなみに第 2 位の漢字は「平」でした。まもなく平成から新しい元号へと移っていくにあたり、迎える新年が平和のうちに進んでいくことを強く願うものです。

さて、今月に入り多くの 3 年生と今年も個人面接の練習を行いました。練習を進める中で、「困難な状況をどのようにして乗り越えたか」という趣旨の質問も含めるようにしましたが、そのやりとりを通して感じたことを述べてみます。まず、学習の面では「苦手な教科の学習」への対策を聞きました。「ワークブックをやり通す」「単語帳を作ったり、紙に書いて覚える」「塾の先生に聞く」等の答えが多く出ましたが、ここまでは予想される範囲の答えです。そこで、さらに掘り下げて出来るだけ具体的に答えてもらうと、「用語を関連づけて覚えるようにした」「漫画を使って歴史の流れをつかんだ」「都立入試の後半の問題について時間を計りながら、繰り返し解いた」など様々な工夫が語られました。そして、このように具体的に答えた生徒は中学校で着実に力を伸ばしています。「自分に合った学習方法を見つけ、実践すること」がいかに大切か、改めて痛感したところです。

また、学校行事や部活動ではどのように取り組み、何が学べたかという内容でも質問しました。印象的だったのは、行事の結果や部活動での技術といった要素以上に、「意見がぶつかったこともあったが、共に活動して信頼が深まった。」「あいさつやきまりを守るという姿勢が身についた。」「集団をまとめる苦労があったが、自信がついた。」といった内容が多く、人間的な成長を図れたことはとても頼もしく感じられました。

学習にせよ、学校生活にせよ、時に困難さを感じることはあります。そして、人それぞれその場面は違いますが、それらを乗り越えてきた 3 年生の姿を学校全体で共有していきたいと考えます。

体罰等の調査について

今年度も学校として、体罰や暴力のない楽しい学校生活づくりを目指し、「暴力はいけないこと」についての講話を行い、各学級では、楽しく学校生活を送ることができるようにするために、生徒にアンケート調査を行いました。各ご家庭においてもお子様の声に耳を傾け、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもっていただくとともに、人を大切にすることや暴力はいけないということについてご確認の上、何かお子様について心配なことがあれば、いつでも、どんなことでも学校にご相談くださるよう改めてお願い致します。

ジュニアリーダー養成講習会閉校式

12月2日（土）に練馬区青少年委員会主催のジュニアリーダー養成講習会閉校式が練馬区立練馬第三小学校で行われました。本校からは下記の6名の生徒が講習会中級を修了することができました。

2年 川守田 元 君	1年 黒澤 しほ さん
2年 松田 空翔 君(皆勤賞)	1年 三上 夏怜 さん
2年 五十嵐 すみれ さん(皆勤賞)	1年 三ツ木 那々葉 さん

修了証と皆勤賞は12月17日(月)の生徒会朝礼で授与されました。

講習の経験を生かし、これからも地域活動に積極的に参加していくことを期待します。

『税についての作文』・『税の標語』

社会科では、夏休みの課題として、練馬西納税貯蓄組合連合会・練馬西税務署が主催している中学生の『税についての作文』と『税の標語』に3年生が取り組みました。税の作文については12月4日（火）に練馬区石神井公園区民交流センターで表彰式がありました。本校からは2名の生徒が表彰されました。

練馬西納税貯蓄組合連合会会長賞 3年C組 川村 あかり さん

練馬西納税貯蓄組合連合会会長賞 3年E組 沼尾 咲弥子 さん

12月17日(月)の生徒会朝礼で表彰状を授与されました。また、税の標語では南野裕梨音さんが佳作を受賞しました。



救急救命講習会

12月8日（土）に3年生は石神井消防署・地域消防団・東京防災救急協会の方々を講師としてお招きして救急救命講習会を行いました。心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの取り扱い方、止血法など3時間にわたる体験を通して学習しました。最初に講習を受け、その後、それぞれ15グループに分かれて実習を行いました。体育館には一定のリズムで「ピー、ピー」と音が流れており、そのリズムをたよりに生徒達は、心臓マッサージを行っていました。



体育館は少し寒いくらいでしたが3年生の皆さんはしっかりと講習会を受け、救命技能認定証を取得しました。3年生の皆さんが災害時や緊急時などに対してこの講習を生かして人命救助の一翼を担ってくれるものと確信しています。

福祉体験発表会

12月8日(土)に2年生の福祉体験の発表会が行われました。各教室で個人発表、武道場で学年発表を行いました。武道場では下記のクラス代表の生徒が発表しました。プレゼンテーションソフトを使ったり、認知症予防の体操を紹介するなどして発表に工夫を凝らしていました。

A組 桐山 佳己 君 濱村 恵里花 さん C組 森田 晶太 君 大竹 咲 さん
B組 岸 琥哲 君 橋本 芽生 さん D組 松井 廉 君 牧 みさき さん



学校保健委員会を開催しました

12月13日(木)に今年度の学校保健委員会を開催しました。池田主任養護教諭から学校保健委員会の役割の説明後、プレゼンテーションソフトを使い学園中の生徒達の定期健康診断結果や保健室来室状況、手洗いアンケートの結果について話をしました。学校保健委員会は学校の教職員、学校医、学校薬剤師、保護者を構成メンバーとしています。役割は子どもたちが自分自身の生活を振り返り、生涯を通して健康で安全な生活を送ることができる力をつけることです。生徒の健康の問題を研究協議して健康づくりの推進を行っています。



当日は、学校医の北島先生(内科)、安藤先生(歯科)、学校薬剤師の福原先生、そしてPTA役員の方々にご参加いただきました。

意見交換では感染症予防について取り上げ、インフルエンザ流行時のマスク着用の効果への疑問や免疫力を高めるヨーグルトなどの発酵食品の摂取などについて話し合われました。マスクの効果ではインフルエンザウィルスはほとんどのマスクを通過してしまうが飛沫の拡散は



押さえられ、効果はあるというものでした。インフルエンザ、風邪等の予防ではうがい、手洗いがよく言われています。うがいはインフルエンザウィルスが10分間という短い時間で体内に侵入してくることから予防に関しては効果が低いと湿度の保持につながることで、手が顔や口等を頻りに触れていることから手洗いやマスク着用が有効などの説明がありました。また、保健室来室者の訴えは上位から頭痛・腹痛・気分不良になっていると報告がありました。

まとめと今後の課題として以下の点が挙げられました。

1. 歯科の受診率が低いので、受診率50%を目指した働きかけ
2. 感染症を予防するため、手洗い習慣定着を目指した働きかけ
3. 学校生活を落ち着いて過ごすための働きかけ

子どもたちを取り巻く様々な課題は学校の中だけでは解決が難しいものです。学校・家庭・社会のそれぞれの立場において相互理解を得ると共に、協力して子ども達の心身の健康づくりを推進していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

3年 家庭科 保育実習

3年生の家庭科の授業では、保育分野の学習を行います。多くの生徒は、日常生活で幼い子とふれあう機会が少ないため、学校近くにあるグローバルキッズ大泉園のご協力を得て、幼児とふれあう体験学習を12月11日(D組)・18日(C組)・20日(E組)に行いました。今後A・B組は1月に実施します。保育実習を通して、小さい子に苦手意識をもっていた生徒も、幼児の屈託のない表情や行動などに接して自分から関わろうとする気持ちをもったり、小さい子を理解するきっかけとなったことでしょう。幼かった頃を思い出し、自分も周りにいるたくさんの人との関わりの中で育ってきたのだということを理解してもらえればと思います。



保育実習に行く前に、家庭科の授業では、幼児のための知育玩具と呼ばれるおもちゃ作りを行いました。当日は、自作のおもちゃを持って、保育実習に行きました。自分たちが作ったおもちゃで楽しそうに遊ぶ園児の姿を見て、生徒も嬉しそうにしていました。

将来、生徒達は様々な立場(保護者・職業・地域など)で小さい子と関わっていくことになります。今回の体験学習が、『子ども』への理解を深めるきっかけとなってくれることを願っています。

